

たんぽぽ通信
(庄原、総領地域版)

2010年4月

日本共産党庄原市委員会

庄原市西本町一丁目4-10

TEL・FAX 72-3366

あなたも しんぶん赤旗を
ぜひ お読みください
日曜版は 月 800 円です



子どもたちにも 環境にもやさしい

庄原保育所の建替えは 木造平屋建に

3月議会で 藤木議員が 一般質問



移転先の選定は関係者の声を尊重しておこなうべきです

現在の庄原保育所は、老朽化し、強い地震に耐えないことが明らかになり、新しく建替えることになりました。

建替え先は、三日市町の山の崎市営住宅の南側の土地を予定している、としています。(入所見定員180人〜200人の予定)

藤木議員は、物事には、誰もが納得できる手順というものがあり、保護者のみなさんや地元関係者のみなさんとよく協議したうえで、移転先を選定する必要があることを、まず、指摘しました。

そのうえで、仮に、三日市町の土地に建替えるとした場合、国道432号線と、移転先予定地に入る市道上原戸郷線(さくら学園から元家畜市場にいく路線)との交差点に信号機がないこと、市道の幅員が少し狭く、歩道もなく危険なことを指摘し、どうするのかとたずなました。

市長は、「必要と認識しており検討する」と答えました。

さらに、藤木議員は、子どもたちにも、環境にもやさしい木造平屋建ての、3歳未満児棟と、3歳以上児棟の二棟建てとし、その2棟を職員室や養護室、ホールでつなぎ、副所長を2名配置し、それぞれの棟を管理できるようにすべきではないかと提案しました。

その他にも、窓は断熱性の高いペアガラス(網戸付)とし、完全冷暖房、3歳未満児の保育室は床暖房にすること、地元産米による、ご飯も含めた完全給食にすることを求めました。

また、駐車場も最低でも150台分程度は必要であり、予定地では狭いこと、したがって、隣接する土地を買い増しする必要があることも指摘しました。

市長は、「保育現場の職員、保護者のみなさんと十分協議し、子どもたちにも、環境にもやさしい保育所にするよう検討する」

「公共施設を木造にすることは、私が、数年来主張してきたこと」

「自園調理方式で、地元産米による完全給食の実施の方向で保護者のみなさんと協議する」

「計画していくなかで、万一敷地が不足する場合、検討する」と答えました。

さまざまな生活相談に無料でとりくんでいます。気軽にご連絡ください。



藤木くにあき (59歳)

TEL 74-1190 FAX 74-0777

携帯 090-5704-0645

- 市議会議員(教育民生常任委員)
- 自宅/庄原市水越町598

ホームページは、藤木くにあき blog で検索して下さい

日本共産党

未来を担う子どもたちの保育は 自治体本来の仕事です



市長は、2011年度から総領保育所を、2013年度から庄原保育所、下高（高野）保育所の運営を民営化したいとしています。

その、狙いは、市の保育職員を、全て民間の職員と入替え、賃金を、市の保育職員の6割程度に抑え、民間の職員のみなさんの犠牲により、予算を浮かせ、その一部で、「3歳未満児保育の充実、延長保育の充実、看護師（もちろん民間の職員としてです）の配置」などをおこなえば、保護者のみなさんに、なんとか同意してもらえらるだろう、という点にあります。

庄原保育所などの民営化は 保育をしようというものです

安い賃金で保育労働者を雇用しその人たちの犠牲を前提に

将来の庄原市を担う子どもたちを育む保育は、自治体本来の仕事です。だから、これまでも、市の保育職員によっておこなわれてきたのです。

したがって、保育の充実に必要な予算の増額は当然のことであり、その予算は、全てに優先して確保すべきものです。

全て民間の職員と入替え、賃金を大幅に引き下げ、その人たちを犠牲にして、子どもたちを育くもうというのは、本末転倒ではないでしょうか。

市の保育職員であっても、計画的な人事で、経験の長い職員から若い職員まで（臨時職員を採用して正職員にし）まんべんなく確保し、看護師も配置すれば、人件費を余り増額することなく、3歳未満児保育の充実、延長保育の充実などを実現することは可能であり、その方が、雇用も安定し、保育の内容も充実するのではないのでしょうか。

例えば、庄原保育所を民営化したら・・・

仮に、入所児童200人の庄原保育所の運営を民営化とした場合、30名を超える民間の保育士、調理士、看護師を、民営化する前年度だけの試験で（市からの委託料が、民営化する年度からしか出ないので、早く採用しても賃金が払えない。しかも、安い賃金のもとで）、経験の長い職員、若い職員というように、まんべんなく採用することは、不可能ではないのでしょうか。

仮に、なんとか採用できたとしても、お互いが初顔合わせというのは、保育の質の充実とは、とても言えないのではないのでしょうか。

どうあるのが子どもたちによいのか 真剣な検討が必要です

藤木議員は、保護者のみなさん、地域住民のみなさんの意見を充分聞いて、民営化の中止もふまえ、絶対に強行することのないよう、つよく求めました。

市長は、「保護者のみなさん、地域住民のみなさんの理解を得るため、早いうちから説明していききたい」と答えました。

2重燃焼する薪ストーブの購入に助成金を

藤木議員は、地球温暖化が進むなか、環境にやさしい木材燃料が見直されてきており、農村部の広い庄原市では、生木の丸太でもよく燃える、2重燃焼する薪ストーブが有効であり、その購入に、三次市のように、助成金を出すよう求めました。

市長は、「検討する」と答えました。